

研究提案書

提出日 2023年5月14日

提案者氏名	鈴木 忍
提案者所属・ 役職	京都大学大学院医学系研究科「医学領域」産学連携推進機構 特定教授
連絡先✉	suzuki.shinobu.3c@kyoto-u.ac.jp

注意事項

- 目安の字数はあくまで参考までに記載しているものですので、合わせていただかなくても結構です。
- 必須項目以外は可能な範囲でご記入ください。
- 秘密情報の記載は避けてください。判断が付かない場合は所属されている組織の産学連携担当者にご相談ください。
- 必要に応じて図やグラフなどを添付ください。本提案書内への挿入でも、別ファイルでの異なるファイル形式（PDF等）での別添でも結構です。

提案研究のタイトル（必須）

※目安は100文字程度。

（日本語）

流早産や分娩異常の予防治療を目指した周産期領域における自然免疫の役割の包括的理解

（英語）

Comprehensive understanding of the role of innate immunity in the perinatal realm for the prevention and treatment of preterm miscarriage and abnormal deliveries

本研究の目的（必須）

※目安は200文字程度。

周産期領域における自然免疫系の細胞や因子の関わりについてはすでに多くの知見があるが、マウスモデルや臨床サンプルの解析から自然免疫のかかわりを分子レベルで包括的に理解を深めることで、流早産や分娩異常の予防治療のための標的を見出す。

研究の背景（必須）

※なぜ本研究を実施したいと考えられたのか、その背景や解決すべきと考える社会的な課題等についてご記載下さい。

※目安は半ページから1ページ程度。

申請者は自然免疫系のシグナル伝達について研究するために、トール様受容体の下流シグナル分子の一つである「IRAK-4」のノックアウトマウスを用いた解析を行っていたが（Suzuki et al, Nature, 2002 等）、マウスのバックグラウンドを BalbC にした際、ホモのノックアウトの雌が出産時に胎児を産みださずに死亡するという現象に遭遇した。C57/BL6 をバックグラウンドにした場合にはそのような現象が認められなかったことから、C57/BL6 と BalbC の遺伝的背景の精査、ヒト胎盤組織におけるトール様受容体シグナルの役割、及び既報の疫学的な調査結果等から包括的に周産期領域における自然免疫の役割を理解し、流早産や分娩異常の予防治療のための標的分子やバイオマーカーの同定につなげたい。

※興味を持っていただける企業や臨床研究者の参画を歓迎します。また、コメントやサジェスチョンだけでも大変助かりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

先行知見

※本提案研究ですでに明らかになっていることは何か、簡潔に御記載ください。他者による研究成果とご自身がこれまで得られた知見がある場合は分けて記載ください。それぞれについて、代表的な論文のリストアップでも結構です。

※目安はそれぞれ 200 文字程度。特になければこちらの欄は記載いただく必要はありません。

他者による先行知見：

提案者がこれまでに得た公表済みの知見（代表論文の URL でも結構です）：

本研究の特徴、アピールポイントなど

※今回の提案研究の新規性や優位性、着眼点のユニークさ、研究手法などに他にはない特徴等、提案者がアピールしたいことを御記載ください。すでに提案者が得ている未発表の研究結果やアイデアに関するノンコンフィデンシャルな情報でも結構です。

※必要に応じ、図や補足資料などの添付もお願いします。

※目安は 300 文字程度。特になければこちらの欄は記載いただく必要はありません。

実験計画

※目的を達成するために行うべき今後の実験計画及び研究期間を御記載ください。工夫している点はないか（ソリューションを導くまでのアプローチやデジタル技術の応用を含む研究手法、特殊な研究

材料の使用など)、課題の解決策やその検証方法等もご記載下さい。

※必要に応じて図示してください。

※目安は半ページから1ページ程度。

研究遂行のために必要としていること

※目的を達成するために公的機関や企業等から得たいとお考えの支援は何か出来るだけ具体的に
記載ください(資金(人件費)、機器等)

同じようなテーマで研究を行っている研究者名や論文情報等(あれば)

※競合状況などを把握するために記載をお願いしております。関連するURL等でも結構です。特になければこちらの欄は記載いただく必要はありません。

知財等

※特許出願済の場合、「出願番号(あれば公開番号)」をご記入ください。特になければ記載不要です。

本研究、もしくはアイデアから得られる結果に対し期待される社会に与える効果

※市場性や市場規模、既存の“ソリューション”に対する優位性、今後の展開等について記載下さい。

※目安は300文字程度。特になければこちらの欄は記載いただく必要はありません。

特記事項

※興味をお持ちの企業や、競合等の懸念からコンタクトを避けたい企業などあれば御記載ください。また、産学連携に関する期待や懸念点、他のアカデミアや学生、ポスドクに向けた研究室の御紹介など、ご自由に記載ください。

※目安は300文字程度。特になければこちらの欄は記載いただく必要はありません。

提案書送付先：

京都大学大学院医学研究科「医学領域」産学連携推進機構

☒：申請窓口 <application@contracts.med.kyoto-u.ac.jp>

(ご質問もこちらで受け付けます)